

社会資本総合整備計画

平成28年3月18日

計画の名称	五所川原市の下水道における防災・安全対策の実現							重点計画の該当	
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)			交付対象	五所川原市				
計画の目標									

処理場の計画的な改築更新を行うことにより、汚水処理能力の機能低下を未然に防止し、適切な汚水処理を行うとともにライフサイクルコストの縮減を図る。

計画の成果目標(定量的指標)

処理場における機械・電気設備の長寿命化計画に基づく改築更新率を0%(H25)から20%(H29)にする。
 処理場の耐震化計画に基づく耐震補強率を0%(H25)から13%(H29)にする。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値	中間目標値	最終目標値
(H25当初)	(H27末)	(H29末)

処理場における機械・電気設備の長寿命化改築更新達成率
 改築更新対策済みの設備数(中分類) / 改築更新対策が必要な設備数(中分類) × 100

0%	0%	20%
----	----	-----

処理場の耐震補強率
 耐震補強済みの施設数(箇所) / 耐震補強が必要な施設数(箇所) × 100

0%	0%	13%
----	----	-----

全体事業費	合計(A+B+C)	769百万円	A	769百万円	B	-	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合	0.0%
-------	-----------	--------	---	--------	---	---	---	------	---	------	------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	個別施設計画策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
A1-1	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	全種	五所川原市浄化センター	長寿命化計画策定	五所川原市						16	-	
A1-2	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	改築	五所川原市浄化センター	汚泥脱水設備改築更新	五所川原市						386	策定済	長寿命化計画
A1-3	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	全種	五所川原市浄化センター	耐震化計画策定	五所川原市						24	-	
A1-4	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	改築	五所川原市浄化センター	ガスタンク設備改築更新	五所川原市						145	策定済	長寿命化計画
A1-5	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	全種	五所川原市浄化センター	調査・設計等(機械・電気)	五所川原市						25	策定済	長寿命化計画
A1-6	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	全種	五所川原市浄化センター	最初沈殿池汚泥掻寄機等改築詳細設計	五所川原市						10	策定済	長寿命化計画
A1-7	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	改築	五所川原市浄化センター	管理棟等(建築)耐震補強	五所川原市						143	-	
A1-8	下水道	過疎	五所川原市	直接	-	水セ	全種	五所川原市浄化センター	調査・設計等(土木・建築)	五所川原市						20	-	
											小計(下水道事業)					769	-	

社会資本総合整備計画

平成28年3月18日

計画の名称	五所川原市の下水道における防災・安全対策の実現			重点計画の該当
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	五所川原市	
計画の目標	処理場の計画的な改築更新を行うことにより、汚水処理能力の機能低下を未然に防止し、適切な汚水処理を行うとともにライフサイクルコストの削減を図る。			

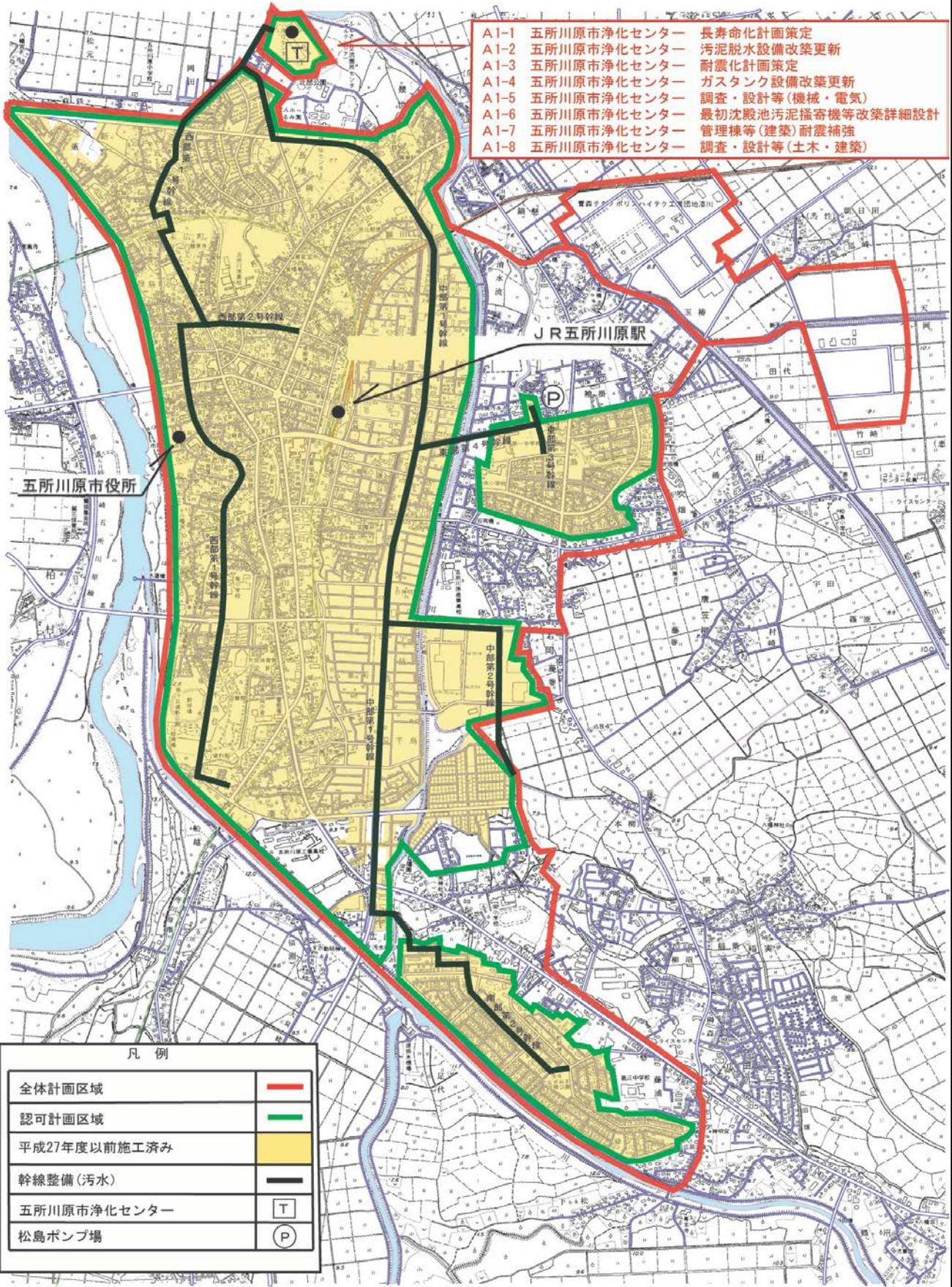
C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
小計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

計画の名称	五所川原市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	五所川原市



- A1-1 五所川原市浄化センター 長寿命化計画策定
- A1-2 五所川原市浄化センター 汚泥脱水設備改築更新
- A1-3 五所川原市浄化センター 耐震化計画策定
- A1-4 五所川原市浄化センター ガスタンク設備改築更新
- A1-5 五所川原市浄化センター 調査・設計等(機械・電気)
- A1-6 五所川原市浄化センター 最初沈殿池汚泥掻寄せ機等改築詳細設計
- A1-7 五所川原市浄化センター 管理棟等(建築)耐震補強
- A1-8 五所川原市浄化センター 調査・設計等(土木・建築)

凡例

全体計画区域	—
認可計画区域	—
平成27年度以前施工済み	
幹線整備(汚水)	
五所川原市浄化センター	T
松島ポンプ場	P

社会資本整備総合交付金 チェックシート

計画名称

五所川原市の下水道における防災・安全対策の実現

都道府県・市町村名

青森県・五所川原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
<p>・下水道事業計画に基づく施設整備は既成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり、かつ上位計画である岩木川流域流域別下水道整備総合計画との整合性はとれている。</p>	
②地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
<p>・効率的な管理・運営と地域住民の生活環境の改善及び公共水域の水質保全を目的とした処理場における機械・電気設備長寿命化計画及び耐震化計画の目標を立てている。</p>	
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
<p>・機械・電気設備長寿命化計画及び耐震化計画の目標達成に向けた定量的指標が明確であり、客観的に確認することが容易であり、整合性が図られている。</p>	
②定量的指標の明瞭性	○
<p>・定量的指標は処理場における機械・電気設備の長寿命化及び耐震化対策状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。</p>	
③目標と事業内容の整合性	○
<p>・事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。</p>	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
<p>・事業実施により、衛生面等居住環境の改善及び公共水域の水質保全が見込まれ、かつ地域全体の自然環境・生活環境の改善が期待できる。</p>	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性)	○
<p>・下水道事業への理解度・期待度は高く、事業実施のための環境整備は図られている。</p>	
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
<p>・他事業である集落排水事業・合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。</p>	